

共生・公正・創造
共生の精神のもとに、心
とところをつなぎ、次代
につながる公正な社会を
創ります。

JR東日本労働組合 東京地方本部

JR東日本労働組合
東京地方本部
東京都千代田区鍛冶町2-11-11
発行者・福田 高夫 編集者・室岡 圭司
TEL(NTT)03-3251-2191 (JR)057-2292
FAX(NTT)03-3251-2192 (JR)057-2292

2017年度賃金改定要求

1. 基本給ならびに初任給を、社員一律 6,000円引き上げること。
2. 定期昇給を実施すること。昇給係数は 4 係数とすること。
3. 「エルダー社員就業規則」を改め、社員に準じて賃金を引き上げること。
4. 「グリーンスタッフ就業規則」を改め、社員に準じて賃金を引き上げること。

春闘要求決定！ 第4回中央委員会

本部は、2月11日、「ホテルラングウッド」において、第4回中央委員会を開催した。「2017春闘勝利にむけた総決起の場」と位置づけた本委員会には、構成員、傍聴者をあわせ

て200名を超える組合員が結集し「安全の確立」「2017春闘」「労働条件の向上」「組織強化・拡大」の取り組みを柱とする当面の活動方針を決定した。

議長に郷書記長
を選出！

議長に、郷中央委員を選出した。就任挨拶で、郷議長は「今委員会は2017春闘の方針を決める重要な委員会である。近年の春闘は以前のように弱い者が集まり、一つの大きな力にして会社にむかうというよりは、一社員対会社の様相を呈していないだろうか。」

いかに時代が変わろうとも、弱い者が集まっても、労働組合として闘うことは何ら変わらない。中央委員の活発な議論によって、ともに中央委員会を成功させよう」と述べた。以後の議事をスムーズな進行で成功へと導いた。

東京地本室岡 中央委員発言

質疑において、室岡中央委員が発言を行った。

・発言要旨

●風化させてはいけない安全問題について
東京地本は、水戸地本のご協力を得て「常磐線

被災エリア現地踏査」を行った。高速道路や竜田駅に設置されている線量計では常に高い放射線量を表示しているなど「まだ震災は終わっていない」という現実を突きつけられた。原発事故の復旧も終わっていないなかで、未だ漏れ出している放射線のなかで働く仲間たちが苦勞していることを強く感じた。この現状をさまざまに形で発信し、絶対に風化させてはならない。苦勞している仲間を支援していく。

●要員問題について
年々減り続ける社員数に、増え続ける業務量。さらに育児休暇や時短勤務を取得する社員も増加し、その穴埋めを会社は小手先の対策で回しているのが現状だ。制度を活用したいものの要員が逼迫しているために利用できない。解決のために会社は何をしているのかが見えてこない。制度を不安なく活用できる体制が必要である。根本的解決のために会社は全系統の要員需給を明らかにし、適正要員を配置するべきだ。

地本として申第一号を申し入れた。しかし、未だ交渉日程すら決まらない。早期に団体交渉できるように強く働きかけていく。

共済推進・拡大分会代表者会議開催

2月25日に東京地本は拡大分会代表者会議と交通共済推進会議を開催した。

集会は二部構成で行い、はじめに地本を代表して小泉執行副委員長が挨拶。「ダイ改の団交を2月22日に行ったが、ダイ改交渉中にもかかわらずもうすでに決まったかのようないかにダイ改に向けた訓練を行っている」など、挨拶をしました。

第一部では、交通共済の真島係長より資料に基づき、30周年加入促進強化期間の取組みや、新制度「子供生命共済」についての説明などがされた。第二部の拡大分会代表者会議で、本部からは野上執行副委員長よりご挨拶を頂きました。

その後、主な発言では「ダイ改で一方的に駅の作業ダイヤが変更され、休憩時間が削られた。作業に精通していない人が作っている。抜本的に見直しが必要」「蔵駅の関係でホームに警備員が配

置されたが、きちんと要員化するべき」などの意見も出され、地本全組合員で2017春闘要求実現に向け全力で取り組む事を決意して、集会は終了した。



東京地本2017年新春の集い開催

地本は、1月21日ホテルラングウッドにおいて「2017年新春の集い」を開催しました。会場には、組合員、退職者連絡会、来賓を含め40名余りが参加しました。

「今年は、JR発足30年目の節目の年を向かえる。国鉄採用の社員が減り、駅は業務委託と遠隔操作が進み、私たちを取り巻く環境が変化するなか、昨年からは、ホームからの転落事故が多発している。もう一度、お客様への安全第一の気持ちと、社員を大切にする企業として、今後、会社が発展することを切に希望する」

「9月の第5回東京地本定期大会で組織拡大の報告ができるように、地本執行部が先頭に立ち取り組むことを誓う」と決意を述べました。続いて、来賓の方々から順次あいさつを戴きました。

当日は会場内に常磐線被災地現地踏査報告が掲出され、食い入るように入る参加者の姿も見られました。豪華景品を揃えての恒例の抽選会も盛大に行われ、最後に斎藤副委員長の前で終了しました。

分会は2月以降組合員が1名になってしまいましたが、今後もエルダー組合員、地本でバックアップしながら取り組んでいきます。

新体制は次の通りです。執行委員長 鈴木増美

2月22日、支社経営側と平成29年3月ダイヤ改正提案を受け、各職場から仲間たちの声をものにつくりあげた「申2号」の団体交渉を行いました。

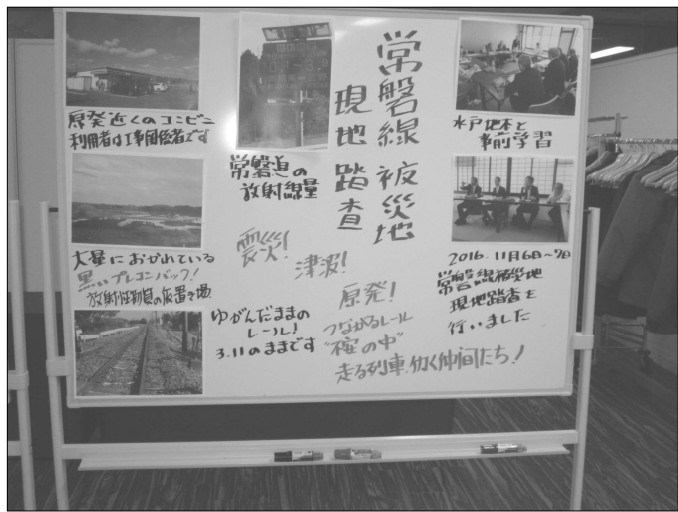
私たちは、安全かつ快適な列車を提供することにも、よりよい職場を創造するために、真摯にそして「職場の現実」に立って議論して来しました。

共通項目では、将来展望は、現段階で労働組合に示せるものは無いとしながらも、ホームドアの導入について、遅延対策について、要員問題、会社が発見交換しました。

各職場の個別項目では、安全対策について、遅延対策について、作業通路について、設備・備品についてなど支社経営側と「認識」を共有し、改善の実施も含め前進しました。あわせて職場の問題点について継続的に検証していくことを確認しました。

海江田万里氏

福田委員長



池袋地区駅連合分会 分会大会開催

1月25日、池袋地区駅連合分会は組合員と地区内エルダー組合員、総勢10名の参加で分会大会並びに退職者、転勤者激励会を開催しました。

執行委員長 小宮実
書記長 刑部典哉
会計監査員 深山良夫

平成29年3月ダイヤ改正に関する申し入れ 団体交渉実施

前号訂正のお詫び
前号18号において執行委員の名前に誤記がありました。訂正してお詫びいたします。

誤：斎藤 充
正：佐藤 充

松戸車掌区連合分会 定期大会

2月23日松戸市一友会館において松戸車掌区連合分会定期大会が開催されました。

大会は小泉地本執行副委員長を来賓に迎え、小宮分会長の司会、進行で進められました。

議論では、職場労働条件の問題点や組織拡大に向けての意見など多岐に渡り、忌憚のない討論が繰り広げられました。第一部は新役員体制を確認して終了し、その後場所を移して第二部懇親会を行い、さらに議論を深めました。

新役員はつぎの通りです。

東京地本春闘スローガン決定！

N (なにが) N (なんでも) B (ベースアップ)

東京総合車両センター分会 今井昭一さん作

今後の行動予定

- 5月12日(金) 本部ソフトボール大会
大森ふ頭中央海浜公園スポーツの森
- 5月27日(土) ボーリング大会
池袋ハイパーレーン
- 6月6日(火) 合同地本ゴルフ大会(前泊)
宇都宮カンツリークラブ
- 6月24日(土) 関東ブロックレクリエーション(地引網)
茨城付近
- 7月8日(土) 中央本部第5回定期大会
ホテルラングウッド
- 9月9日(土) 東京地本第5回定期大会
田町交通ビル

交通共済30周年！

増件・増口キャンペーン実施中！

同一生計のお子様がいる方対象
交運共済に新たな保障が加わりました！

子供生命共済

終身生命共済・個人長期生命共済
4月1日取り扱い開始！

少ない掛け金で、大きな保障！

是非とも、ご検討ください！